

現場で役立つ

小学校国語科 教育法

学習指導要領の改訂に合わせて、2020年に改訂版を発行します。

以下に、改訂版にて修正・改訂を行った箇所を示します。

現場で役立つ

小学校 国語科 教育法

牛頭哲宏・森篤嗣 著

ココ出版

旧版

テキスト
牛頭哲宏・森篤嗣「現場で役立つ小学校国語科教育法」コト出版
参考文献
「平成二十一年告示 小学校学習指導要領」文部科学省

成績評価の方法と基準
出席時数（二五％）、期末レポート（五〇％）、授業への取り組み（二五％）の割合により評価を行う。

7

改訂版

テキスト
牛頭哲宏・森篤嗣「現場で役立つ小学校国語科教育法」コト出版
参考文献
「平成二十五年告示 小学校学習指導要領」文部科学省

成績評価の方法と基準
定期試験（五〇％）、提出物（三十％）、ポートフォリオ（二十％）の割合により評価を行う。

7

す。カエルの名前の由来など、教えてしまえば簡単なことですが、教師は辛抱強く待つのです。すると、子どもは祖父にカエルの名前の由来について聞き、学んだことを記します。アマガエルの「アマ」が「雨」のことだと知り、同時に「雨」を「アマ」と呼ぶことも覚えるのです。さらに、教師が「アマグモ（雨雲）」という言葉を教え、言葉が増えていくのです。まさに言葉の教育です。そして極めつけなのが、「アマガエルを箱に入れて飼ってご覧なさい」というコメントによって、さらなる発見と驚きへと子どもを誘い、学びの方向に導くこともできています。

このように、小学校で学ぶ基礎的な言葉の力が生活の中で生かされ、同時に、生活の中で疑問に思ったことや気付いたことが学校教育での学習として取り上げられることが、子どもものの見方や考え方を深めることへとつながっていくのです。

小学校における国語科とは、どのような意味を持った教科であるか、日記指導を例にその一端を紹介しました。言葉の使い方だけではなく、認識力や思考力も伸ばすという意味が、少しお分かりいただけでしょうか。

教科書から何を学ぶか

国語科以外の教科では教科書を読めばそこに習得すべき知識や方法が書いてあります。例えば、算数科の教科書は、計算や図形に関する基礎知識や法則などについて、読めば分かるようになっていきます。では、国語科の教科書に掲載されている物語文や説明文のような読み物はどうでしょう。例えば、平成二十三年度版の国語科の教科書に掲載されている説明文『ウナギのなごを追って』（光村図書 四年生）を読むと、ウナギがどのような生物であるのかといった知識

す。カエルの名前の由来など、教えてしまえば簡単なことですが、教師は辛抱強く待つのです。すると、子どもは祖父にカエルの名前の由来について聞き、学んだことを記します。アマガエルの「アマ」が「雨」のことだと知り、同時に「雨」を「アマ」と呼ぶことも覚えるのです。さらに、教師が「アマグモ（雨雲）」という言葉を教え、言葉が増えていくのです。まさに言葉の教育です。そして極めつけなのが、「アマガエルを箱に入れて飼ってご覧なさい」というコメントによって、さらなる発見と驚きへと子どもを誘い、学びの方向に導くこともできています。

このように、小学校で学ぶ基礎的な言葉の力が生活の中で生かされ、同時に、生活の中で疑問に思ったことや気付いたことが学校教育での学習として取り上げられることが、子どもものの見方や考え方を深めることへとつながっていくのです。

小学校における国語科とは、どのような意味を持った教科であるか、日記指導を例にその一端を紹介しました。言葉の使い方だけではなく、認識力や思考力も伸ばすという意味が、少しお分かりいただけでしょうか。

教科書から何を学ぶか

国語科以外の教科では教科書を読めばそこに習得すべき知識や方法が書いてあります。例えば、算数科の教科書は、計算や図形に関する基礎知識や法則などについて、読めば分かるようになっていきます。では、国語科の教科書に掲載されている物語文や説明文のような読み物はどうでしょう。例えば、令和二年年度版の国語科の教科書に掲載されている説明文『ウナギのなごを追って』（光村図書 四年生）を読むと、ウナギがどのような生物であるのかといった知識

旧版

しょう。

基礎Ⅱ覚えなければならない言葉の知識
基本Ⅱ言葉を使いこなす力

//////
小学校の教師は「基礎Ⅱ覚えなければならない言葉の知識」を次のように子どもたちに伝えます。

※新しく出てきた言葉はできるだけ多く覚えましょう。
※卒業するまでに〇〇六文字の漢字を覚えて使えるようになりましょう。
※正しい文章が書けるようになりましょう。
※正しい文で話ができるようになりましょう。

「基本Ⅱ言葉を使いこなす力」については、次のように子どもに伝えます。

※人に向かって話すことができるようになりましょう。そして、上手に聞く力をつけましょう。

※様々な種類の文章を書く書き方を身に付けましょう。

※様々な文章を読む力を身に付けましょう。

※多くの本に親しみ、進んで読書しましょう。

17 | 1章 国語って、何を教える教科？

改訂版

しょう。

基礎Ⅱ覚えなければならない言葉の知識
基本Ⅱ言葉を使いこなす力

//////
小学校の教師は「基礎Ⅱ覚えなければならない言葉の知識」を次のように子どもたちに伝えます。

※新しく出てきた言葉はできるだけ多く覚えましょう。
※卒業するまでに〇二六文字の漢字を覚えて使えるようになりましょう。
※正しい文章が書けるようになりましょう。
※正しい文で話ができるようになりましょう。

「基本Ⅱ言葉を使いこなす力」については、次のように子どもに伝えます。

※人に向かって話すことができるようになりましょう。そして、上手に聞く力をつけましょう。

※様々な種類の文章を書く書き方を身に付けましょう。

※様々な文章を読む力を身に付けましょう。

※多くの本に親しみ、進んで読書しましょう。

17 | 1章 国語って、何を教える教科？

旧版

た学習者へと成長する手だてになりますし、そうしたことの積み重ねが、互いを尊重し合えるクラス作りにもつながります。

「しつけ」と「おしつけ」

ところで、教師にとって最も簡単な授業とはどのような授業でしょう。それは、「今から漢字を五文字覚えなさい。それが済んだら意味調べをしなさい。できたらノートを持ってこると」のように指示だけをする授業です。「おしつけ型授業」と言ってもいいでしょう。物語文だと「登場人物の心情は○○から○○に変わります。どこに書いてあるのか探しなさい」、説明文だと「段落の要点は○○です。ノートに写しなさい」のように、どんな教師が教え込んでいきます。子どもが自分で考える暇はありません。とにかく、やり方や答えを教え込んでいきます。順調に授業は進みますし、きつとテストの成績もいいでしょう。

しかし、このようなおしつけ型の授業を行っている教師はほとんどいません。なぜなら、この方法では、子どもが自分で考える力を鍛えられないからです。子どもを学習者として独り立ちさせるのが学校教育の目的です。言い換えると、毎日の授業を通して、自分で考え、判断し、表現できる子どもに「しつけ」の目的が教師の役目と書いていいでしょう。ですから、「あれしなさい、これしなさい」式のおしつけ型授業では、いつまで経っても子どもは育ちません。そこで大切なことは、子どもが自分で物事を考えるための仕掛けです。

その仕掛けとは、ワクワクするような楽しい活動であったり、考えるきっかけとなる教師の発問であったり、友達との伝え合いであったりします。それらの指導技術を身に付けていくのはまだまだ先のことになるでしょうが、まずは教師自身が楽しいと感じる授業をイメージし、

改訂版

た学習者へと成長する手だてになりますし、そうしたことの積み重ねが、互いを尊重し合えるクラス作りにもつながります。

「しつけ」と「おしつけ」

ところで、教師にとって最も簡単な授業とはどのような授業でしょう。それは、「今から漢字を五文字覚えなさい。それが済んだら意味調べをしなさい。できたらノートを持ってこると」のように指示だけをする授業です。「おしつけ型授業」と言ってもいいでしょう。物語文だと「登場人物の心情は○○から○○に変わります。どこに書いてあるのか探しなさい」、説明文だと「段落の要点は○○です。ノートに写しなさい」のように、どんな教師が教え込んでいきます。子どもが自分で考える暇はありません。とにかく、やり方や答えを教え込んでいきます。順調に授業は進みますし、きつとテストの成績もいいでしょう。

しかし、このようなおしつけ型の授業を行っている教師はほとんどいません。なぜなら、この方法では、子どもが自分で考える力を鍛えられないからです。子どもを学習者として独り立ちさせるのが学校教育の目的です。言い換えると、毎日の授業を通して、自分で考え、判断し、表現できる子どもに「しつけ」の目的が教師の役目と書いていいでしょう。ですから、「あれしなさい、これしなさい」式のおしつけ型授業では、いつまで経っても子どもは育ちません。そこで大切なことは、子どもが自分で物事を考えるための仕掛けです。

その仕掛けとは、ワクワクするような楽しい活動であったり、考えるきっかけとなる教師の発問であったり、友達との伝え合いであったりします。それらの指導技術を身に付けていくのはまだまだ先のことになるでしょうが、まずは教師自身が楽しいと感じる授業をイメージし、

旧版

第2学年 国語科学習指導案

指導者○○○○

1 日時 平成○年○月○日(○)第○校時

2 単元名 本は友だち「スーホの白い馬」

3 単元目標

- 出来事の順序に気を付けた場面の様子や登場人物の気持ちを想像したりしながら読む
- ・読んで思ったことや分かったことを、理由を付けて分かりやすく話すことができる。
(話すこと・聞くこと)
- ・場面の様子を想像し、登場人物の気持ちを考えながら読むことができる。(読むこと)

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	国語の特質についての事項
本や文章を読んだり、想像を広げたりしながら読むとしている。	場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。	文の中における主語と述語との関係に注意している。

5 指導観

- ・「スーホの白い馬」は2年生の最後の物語文である。物語文の基本である場面の読み取りや叙述を味わいながら登場人物同士の心の通い合いを読み取ることを通して、読みの力を身に付けさせることが目的である。基礎的な読み取り方を学習させ、それを応用し定着を図る場、さらに発展させる場を設定し、読む力を伸ばしていきたい。
- ・本学級の児童は、読書量が多く、この1年間で10000ページ以上を全ての児童が突破している。物語文の読みについての事前調査では、全員の児童が音読が大好きと答え、音読については、時間の移り変わりによって場面が変わることを把握している児童が7割、人物の言葉や行動から心の動きを読み取ることができる児童が4割、人物同士の関係を把握しながら読むことのできる児童が6割いる。伝え合いについては、自分の考えを発言できる児童が多く活発な意見交換ができることが多い。
- ・本時は、「スーホと白い馬」のメインテーマである馬頭琴が誕生したわけについて、物語の結末から冒頭へと逆にたどっていく。その際、「読みの根拠を示し自分の意見として表現する」ために、言葉一つ一つの意味をしっかりと捉えさせる発問を心がけたい。さらに、学習者同士が自らの読みを伝え合い、生かし、分かち合っているよう、場のコーディネートもつとめたい。教師を交えた伝え合いの場において、それぞれの読みを位置付け、高めていくことができるように授業を構築していきたい。

単元名は使用している教科書の通りに書くのが一般的です。単元目標は使用している教科書会社の指導書に書いてある通りに書きます。

評価規準は評価の内容について書き、ABCのB評定の到達基準になります。関心・意欲・態度と国語の特質については必須項目です。それに加えて、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」などの項目が一つ入ります。内容は学習指導要領の解説編にある通りに書きます。

指導観は・教材観 単元の特徴や、この単元において身に付けさせたいことなどを書きます。・児童観 クラスの子どもの実態や特徴について書きます。

31 | 2章 授業時間の四十五分をどう生かすか

改訂版

第2学年 国語科学習指導案

指導者○○○○

1 日時 令和○年○月○日(○)第○校時

2 単元名 本は友だち「スーホの白い馬」

3 単元目標

- 出来事の順序に気を付けた場面の様子や登場人物の気持ちを想像したりしながら読む
- ・読んで思ったことや分かったことを、理由を付けて分かりやすく話すことができる。
(話すこと・聞くこと)
- ・場面の様子を想像し、登場人物の気持ちを考えながら読むことができる。(読むこと)

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	国語の特質についての事項
本や文章を読んだり、想像を広げたりしながら読むとしている。	場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。	文の中における主語と述語との関係に注意している。

5 指導観

- ・「スーホの白い馬」は2年生の最後の物語文である。物語文の基本である場面の読み取りや叙述を味わいながら登場人物同士の心の通い合いを読み取ることを通して、読みの力を身に付けさせることが目的である。基礎的な読み取り方を学習させ、それを応用し定着を図る場、さらに発展させる場を設定し、読む力を伸ばしていきたい。
- ・本学級の児童は、読書量が多く、この1年間で10000ページ以上を全ての児童が突破している。物語文の読みについての事前調査では、全員の児童が音読が大好きと答え、音読については、時間の移り変わりによって場面が変わることを把握している児童が7割、人物の言葉や行動から心の動きを読み取ることができる児童が4割、人物同士の関係を把握しながら読むことのできる児童が6割いる。伝え合いについては、自分の考えを発言できる児童が多く活発な意見交換ができることが多い。
- ・本時は、「スーホと白い馬」のメインテーマである馬頭琴が誕生したわけについて、物語の結末から冒頭へと逆にたどっていく。その際、「読みの根拠を示し自分の意見として表現する」ために、言葉一つ一つの意味をしっかりと捉えさせる発問を心がけたい。さらに、学習者同士が自らの読みを伝え合い、生かし、分かち合っているよう、場のコーディネートもつとめたい。教師を交えた伝え合いの場において、それぞれの読みを位置付け、高めていくことができるように授業を構築していきたい。

単元名は使用している教科書の通りに書くのが一般的です。単元目標は使用している教科書会社の指導書に書いてある通りに書きます。

評価規準は評価の内容について書き、ABCのB評定の到達基準になります。関心・意欲・態度と国語の特質については必須項目です。それに加えて、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」などの項目が一つ入ります。内容は学習指導要領の解説編にある通りに書きます。

指導観は・教材観 単元の特徴や、この単元において身に付けさせたいことなどを書きます。・児童観 クラスの子どもの実態や特徴について書きます。

31 | 2章 授業時間の四十五分をどう生かすか

旧版

ん。では、「前の時間に学習したのはどの場面でしたか？」と問いかけてみるのはどうでしょう。「えーっと、この場面だったと思うなあ」とか「確か、主人公が〇〇する場面でした」のように子どもの思考が刺激され、必然的に会話が生まれます。また、「前の時間に主人公の会話文に注目したのは、何のためかな」と問うことによって、「主人公の心情の変化を読み取るためです」というような答えを引き出し、学習のめあてを確認することもできます。

子どもが自分で考えるように刺激し、授業が展開するように仕向けていく発問を「たしかめ発問」と呼びます。「たしかめ発問」は、クイズ形式で問うことができますから、発問をつなげるだけでもどんどん授業を展開することができます。ただし、たしかめ発問だけでは授業に深まりは生まれません。

つっこみ発問のテクニク

授業中の山場や、ここぞという場面で子どもたちにとりかかり考えさせたいとき、つまり授業に深まりを持たせたいときに使う発問を「つっこみ発問」と呼ぶことにします。例えば、五年生の物語文教材「わらわつの中の神様」(光村図書)に、主人公のおみつさんが、わらを編んでわらわつを作るシーンがあります。

少しくらい格好が悪くても、はく人がはきやすいように、あつたかいように、少しでも長持ちするようにと、心をこめて、しっかりと、わらを編んでいきました。

(「わらわつの中の神様」杉みき子)

改訂版

ん。では、「前の時間に学習したのはどの場面でしたか？」と問いかけてみるのはどうでしょう。「えーっと、この場面だったと思うなあ」とか「確か、主人公が〇〇する場面でした」のように子どもの思考が刺激され、必然的に会話が生まれます。また、「前の時間に主人公の会話文に注目したのは、何のためかな」と問うことによって、「主人公の心情の変化を読み取るためです」というような答えを引き出し、学習のめあてを確認することもできます。

子どもが自分で考えるように刺激し、授業が展開するように仕向けていく発問を「たしかめ発問」と呼びます。「たしかめ発問」は、クイズ形式で問うことができますから、発問をつなげるだけでもどんどん授業を展開することができます。ただし、たしかめ発問だけでは授業に深まりは生まれません。

つっこみ発問のテクニク

授業中の山場や、ここぞという場面で子どもたちにとりかかり考えさせたいとき、つまり授業に深まりを持たせたいときに使う発問を「つっこみ発問」と呼ぶことにします。例えば、五年生の物語文教材「大造じいさんとガン」(光村図書)に、大造が残雪と対峙するシーンがあります。

「大造じいさんは、強く心を打たれて、ただの鳥に対してのような気がしませんでした。」

(「大造じいさんとガン」椋鳩十)

この文章を読み解くことによって、大造の人間性と心情の変化が分かる重要な一文です。こ

旧版

この文章を読み解くことによって、主人公のおみつさんの人間性が分かる重要な一文です。ここでどのように問えば、子どもたちはこの一文を読み解くことができるでしょう。

問い1
 「おみつさんが、わらぐつを編むとき、どんなことに気を付けたでしょう？」

このような抽象的な問いでも子どもは反応してくれますが、もう少し具体的に聞いてみましょう。

問い2
 「おみつさんは、どんなわらぐつに仕上げたいと思っていますか？」

問い1は、主人公がわらぐつを編むときに「何に気を付けたか」という問いですが、本文中に「気を付けた」という語句がないために子どもは答えに困ります。それでも「心をこめて編みました」「しっかりわらを編みました」という答えが返ってくるかもしれません。問い1に対しては精一杯の答えでしょう。

問い2では、本文中の語句を使って「はく人がはきやすいわらぐつです」「はく人が温かいわらぐつです」「少しでも長持ちするわらぐつです」と答えることができます。

問い2のように本文中の言葉を使って答えることのできる発問を考えることが教師の技術といえるでしょう。主人公の心情の読み取りは、叙述に即してじっくりと考えなければなりません。

改訂版

ここでどのように問えば、子どもたちはこの一文を読み解くことができるでしょう。

問い1
 「大造は、どんな気持ちで残雪と向き合っているでしょう？」

このように抽象的な「気持ち」を問う発問でも子どもは反応してくれますが、もう少し具体的に問いましょう。

問い2
 「大造と残雪との距離はこのシーンに至るまでにどのように変わっていききましたか？」

問い1は、大造が残雪に対峙したときの「気持ちを想像する」という問いですから、本文中にある「強く心を打たれました」とか「ただの鳥に対してのような気がしません」と答えるのが精一杯でしょう。それでも、「残雪は頭領らしいガンだと思った」「もう戦うことはやめよう」などという答えが返ってくるかも知れません。問い1に対しては精一杯の答えでしょう。

問い2では、本文を遡り大造と残雪の戦いのシーンを振り返る活動へ誘う発問です。「弾の届く距離の三倍もあるえさ場にいるガンを小屋の中から狙う大造」「襲いかかるハヤブサから仲間を救う空中戦を小屋から這い出て見ている大造」、そして、「地上での戦いにおいて、大造が手を伸ばせる距離まで近づいてもじたばた騒がない残雪」が大造の目を通して描かれています。大造と残雪の距離が徐々に近づいていることは容易に読み取ることができます。

大造と残雪との距離が近づいていることを読み取ることができたら、すかさず「その時々の大造の心情は？」とつっこみ発問をします。「小屋の中で残雪を仕留めたいと執念を燃やす大造」、「残雪とハヤブサとの戦いに見とれ銃を下ろしてしまおう大造」、「ぐったりしている残雪に「強く心を打たれて」敬意を払い手を伸ばす大造」。このように大造と残雪の距離が短くなるにつれて大造の心情が闘争心から敬意へと変化している様子を読み取ることができず、つっこみ発問によって大造の心情が一八〇度転換するクライマックスの読み取りに成功したら、次の段階では考えをまとめさせるための発問をします。

❖ 「大造の心情はどのように変化しました。一文にまとめなさい」

この発問によって、子どもの思考はさらに活性化し一生懸命考え、書く活動に入ります。例えば「大造は、残雪の頭領としての姿に心を打たれ、仕留めたいという気持ちが変わり敬意を抱くようになった」という答えが出されます。大造の目を通して描かれる残雪の行動に、読者も心も動かされるのです。物語文の読みの醍醐味ではないでしょうか。

発問のトレーニング その1

例えば、「この本は好きですか？」のような場合だと、好きか嫌いかを答えるだけですから、思考をゆさぶることはありません。答えは「はい」「か」「いいえ」で終わってしまいます。では次の例はどうでしょう。

ん。そのためのかっかけをつくるのが「発問」です。同時に、答えやすく、それでいて具体的な答えが出やすい問いでなければなりません。

つっこみ発問によって子どもの読みを引き出すことに成功したら、次の段階では考えをまとめさせるための発問をします。

❖ 「おみつきさんがわらぐつに込めた思いとはどんなものでしょう。一文にまとめなさい」

このように効果的に発問することによって、先ほど読み解いた考えを一文にまとめる活動に入ります。子どもの思考はさらに活性化し一生懸命考え、書く活動に入ります。例えば「はきやすく、温かくて、じょうぶなわらぐつをつくりたいという思い」という答えが返ってきたり、「はく人の身になって考えたわらぐつをつくりたいという思い」という答えが出されます。いくつかのつっこみ発問をうまく組み合わせ使用することによって、「精一杯いいものを作りたい」「買ってくれる人のために心を込めて作りたい」という主人公のおみつきんのわらぐつ作りに対する思いや、優しい人柄がだんだんと具体的に浮かび上がってきます。

大造と残雪との距離が近づいていることを読み取ることができたら、すかさず「その時々の大造の心情は？」とつっこみ発問をします。「小屋の中で残雪を仕留めたいと執念を燃やす大造」、「残雪とハヤブサとの戦いに見とれ銃を下ろしてしまおう大造」、「ぐったりしている残雪に「強く心を打たれて」敬意を払い手を伸ばす大造」。このように大造と残雪の距離が短くなるにつれて大造の心情が闘争心から敬意へと変化している様子を読み取ることができず、つっこみ発問によって大造の心情が一八〇度転換するクライマックスの読み取りに成功したら、次の段階では考えをまとめさせるための発問をします。

❖ 「大造の心情はどのように変化しました。一文にまとめなさい」

この発問によって、子どもの思考はさらに活性化し一生懸命考え、書く活動に入ります。例えば「大造は、残雪の頭領としての姿に心を打たれ、仕留めたいという気持ちが変わり敬意を抱くようになった」という答えが出されます。大造の目を通して描かれる残雪の行動に、読者も心も動かされるのです。物語文の読みの醍醐味ではないでしょうか。

発問のトレーニング その1

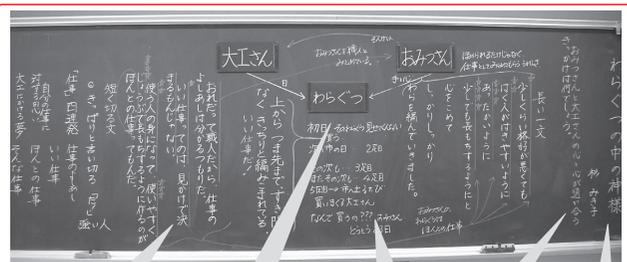
例えば、「この本は好きですか？」のような場合だと、好きか嫌いかを答えるだけですから、思考をゆさぶることはありません。答えは「はい」「か」「いいえ」で終わってしまいます。では次の例はどうでしょう。

旧版

板書メモの実際

五年生の物語文教材「わらぐつの中の神様」(光村図書)の板書を例にとってみましょう。主人公のおみつさんと、大工さんが「わらぐつ」を通して心を通わせていく場面の授業です。右端に教材名と作者名を書き、本時のめあてを書きます。この物語の読み取りには欠かせない、「わらぐつ」「おみつさん」「大工さん」は、はじめから短冊黒板に用意しておき、毎回の授業で使いますので、それらを黒板の中央に掲示することから授業が始まります。つまり、この授業の板書の特徴は、中央から外側へと書いていったことです。

「板書は右側から左側へ順序よく書くものだ」という基本形がありますが、それにこだわることはありません。この授業の板書のように、中央から外側(左右)へと書いたり、基本とは全く逆の左側から右側へと書いていったりする板書もあります。結果として四十五分の授業の流れや要点が構成図のように整理されればよいのです。



主人公の心情が表れている表現を抜き出し、黄や赤のチョークの線で関係をつなぐ。

この板書は、中央から書き始め、左側と右側に二人の登場人物の心情を対比させる形に整理した。

子どもの意見の中からキラリと光る表現を横書きで速記メモする。

本時のめあて

教材名
著者名

改訂版

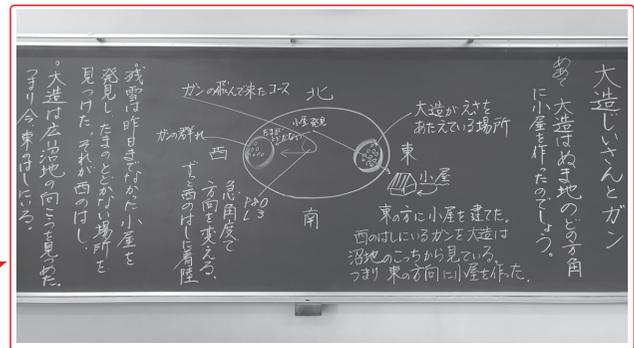
板書メモの実際

五年生の物語文教材「大造じいさんとガン」(光村図書)の板書を例にとってみましょう。この物語の位置関係を視覚的に捉える場面の授業です。

右端に教材名と本時のめあてを書きます。次にこの場面の読み取りには欠かせない、「沼地」と「方角」を黒板の中央に大きく書き込みます。

つまりこの授業の板書の特徴は、読み取ったことを絵地図に書き込むこと、そして、中央から外側へと書いていったことです。

「板書は右側から左側へ順序よく書くものだ」という基本形がありますが、それにこだわることはありません。この授業の板書のように、中央から外側(左右)へと書いたり、基本とは全く逆の左側から右側へと書いていったりする板書もあります。結果として四十五分の授業の流れや要点が構成図のように整理されればよいのです。



6 章

理科や社会科にならないための説明文の授業

この章のねらい

- 説明文を学習することの意味を理解する
- 説明文の指導方法について様々な方法を知る

74

国語科の教科書には植物や動物の生態について書かれてあったり、社会問題や歴史的な事柄について説明してあったりする文章が掲載されています。これを説明文教材（説明的文章教材）と言います。例えば、『ありの行列』（光村図書 三年上）では、昆虫のアリがなぜ行列を作るのかについて、ある科学者が実験を通してその謎を解明していく様子が紹介されています。この内容をしっかり読んでいくと、アリが行列を作る理由が理解できます。昆虫好きの子どもにとっては楽しい教材でしょう。

では、アリが行列を作る仕組みを理解することが、国語科の時間の目的なのでしょうか。どちらかというところは理科の時間に学ぶ内容ではないのでしょうか。

この章では、国語科の時間に説明文教材を学習する目的とその方法について考えてみましょう。

6 章

理科や社会科にならないための説明文の授業

この章のねらい

- 説明文を学習することの意味を理解する
- 説明文の指導方法について様々な方法を知る

74

国語科の教科書には植物や動物の生態について書かれてあったり、社会問題や歴史的な事柄について説明してあったりする文章が掲載されています。これを説明文教材（説明的文章教材）と言います。例えば、『ありの行列』（光村図書 三年下）では、昆虫のアリがなぜ行列を作るのかについて、ある科学者が実験を通してその謎を解明していく様子が紹介されています。この内容をしっかり読んでいくと、アリが行列を作る理由が理解できます。昆虫好きの子どもにとっては楽しい教材でしょう。

では、アリが行列を作る仕組みを理解することが、国語科の時間の目的なのでしょうか。どちらかというところは理科の時間に学ぶ内容ではないのでしょうか。

この章では、国語科の時間に説明文教材を学習する目的とその方法について考えてみましょう。

旧版

本格的に古典の指導が始まりました

現行の学習指導要領は、平成二十三年度から小学校において全面实施になっています。古典の指導については、学習指導要領の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の中の「伝統的な言語文化に関する事項」において次のように記載されています。

小学校では以前から、平安時代の短歌や江戸時代の俳句、「附子」のような狂言や「寿限無」などの落語が教科書に掲載されており、古典に親しんできました。それに加えて、平成二十三年度からは本格的に古典の指導が取り入れられ、以前は中学校で始めて出合った「枕草子」「平家物語」などを、小学校から学ぶことになりました。この章では、小学校の古典の授業はどうあるべきか、ということを中心に、声に出して味わう古典の指導について考えてみましょう。

8章

声に出して味わう 古典の授業

この章のねらい

- 小学校で古典を学ぶ目的を理解する
- 古典の授業を工夫するポイントを学ぶ

改訂版

本格的に古典の指導が始まりました

現行の学習指導要領は、令和二年度から小学校において全面实施になっています。古典の指導については、学習指導要領の「我が国の言語文化に関する事項」の中の「伝統的な言語文化」において次のように記載されています。

小学校では以前から、平安時代の短歌や江戸時代の俳句、「附子」のような狂言や「寿限無」などの落語が教科書に掲載されており、古典に親しんできました。それに加えて、平成二十三年度からは本格的に古典の指導が取り入れられ、以前は中学校で始めて出合った「枕草子」「平家物語」などを、小学校から学ぶことになりました。この章では、小学校の古典の授業はどうあるべきか、ということを中心に、声に出して味わう古典の指導について考えてみましょう。

8章

声に出して味わう 古典の授業

この章のねらい

- 小学校で古典を学ぶ目的を理解する
- 古典の授業を工夫するポイントを学ぶ

旧版

一、二年生
 (ア) 昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすること。
 三、四年生
 (ア) 易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること。
 (イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。
 五、六年生
 (ア) 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読すること。
 (イ) 古典について解説した文章を読み、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。

学習指導要領に示された各学年の目的を読むと、低学年では「昔話や神話・伝承」を「聞く・話す」こと、中学年では「文語調の俳句・短歌」を「音読したり、暗唱したり」すること、高学年では「古文や漢文・近代以降の文語調の文章」を「音読して大体の意味を知る」こと、というキーワードが浮かび上がってきます。また、中学年では「ことわざや慣用句・故事成語」の「意味を知り、使うこと」という内容も加えられています。

つまり、小学校の古典の授業では、音読や暗唱を中心に古典に親しみ、なおかつ、日常生活においても古典の学びが生きるような指導が求められているのです。

改訂版

一、二年生
 (ア) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。
 (イ) 長く親しまれている言語遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。
 三、四年生
 (ア) 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きでリズムに親しむこと。
 (イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。
 五、六年生
 (ア) 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。
 (イ) 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。

学習指導要領に示された各学年の目的を読むと、低学年では「昔話や神話・伝承」を「聞く」こと、中学年では「文語調の俳句・短歌」を「音読したり、暗唱したり」すること、高学年では「古文や漢文・近代以降の文語調の文章」を「音読して大体の意味を知る」こと、というキーワードが浮かび上がってきます。また、低学年では「言葉遊びを通して言葉の豊かさに気付くこと」という内容も加えられています。

つまり、小学校の古典の授業では、音読や暗唱を中心に古典に親しみ、なおかつ、日常生活

声に出して読んでみよう

春暁 孟浩然	春暁 (しゅんぎやう) / 孟浩然 (もうこうねん)
春眠不覚暁 処処聞啼鳥 夜来風雨声 花落知多少	春眠不覚暁 (しゅんみんあかつきをおぼえず) / 処処聞啼鳥 (しよしよていちようをきく) / 夜来風雨声 (やらいふううのこえ) / 花落知多少 (はなおつることしんぬたしやうぞ)

小学校の古典の学習では「声に出して読む活動」が中心になります。教科書にはふりがなが打ってありますが、それでも子どもたちにとって、漢詩や文語調の古典の言い回しはまるで外国語です。当然、教師の範読が学びの入り口になります。

「春暁」は六年生の四月の教材です。これを見ていきなり「しゅんみん、あかつきをおぼえず」と読める子どもはそう多くはありません。そこで、あなたの登場です。中学校、高等学校、そして大学で学んだ古典に関するレベルの差を子どもたちに示し、「やっぱり先生はすごいや」と感じさせる読みができることが大切です。では、声を出して読んでみましょう。大丈夫、ちゃんとふりがなを打っておきましたからね。それではどうぞ。

声に出して読む場合、どのようなトーンやリズムで読む方がいいのでしょうか。この題名の漢詩なので、何だか重々しく硬い感じで読んだのではないのでしょうか？

では、「春暁」の現代語を読んでみましょう。(現代語訳は教科書に載っています)

声に出して読んでみよう

春暁 孟浩然	春暁 (しゅんぎやう) / 孟浩然 (もうこうねん)
春眠不覚暁 処処聞啼鳥 夜来風雨声 花落知多少	春眠不覚暁 (しゅんみんあかつきをおぼえず) / 処処聞啼鳥 (しよしよていちようをきく) / 夜来風雨声 (やらいふううのこえ) / 花落知多少 (はなおつることしんぬたしやうぞ)

小学校の古典の学習では「声に出して読む活動」が中心になります。教科書にはふりがなが打ってありますが、それでも子どもたちにとって、漢詩や文語調の古典の言い回しはまるで外国語です。当然、教師の範読が学びの入り口になります。

「春暁」は五年生の十一月の教材です。これを見ていきなり「しゅんみん、あかつきをおぼえず」と読める子どもはそう多くはありません。そこで、あなたの登場です。中学校、高等学校、そして大学で学んだ古典に関するレベルの差を子どもたちに示し、「やっぱり先生はすごいや」と感じさせる読みができることが大切です。では、声を出して読んでみましょう。大丈夫、ちゃんとふりがなを打っておきましたからね。それではどうぞ。

声に出して読む場合、どのようなトーンやリズムで読む方がいいのでしょうか。この題名の漢詩なので、何だか重々しく硬い感じで読んだのではないのでしょうか？

旧版

ことわざスキットワークシート 氏名〇〇〇〇

発表する「ことわざ・故事成語」はこれだ

弘法にも筆の誤り

意味

弘法大師（空海）のような書の名人でも、書き損じることがある。その道に長じた人でも時には失敗をすることがあるというたとえ。同じ意味のことわざ「猿も木から落ちる」、「河童の川流れ」

スキットのアイデア

- 世界陸上の男子百メートル決勝の場面優勝間違いないと思われた**ホルム選手**がフライングとする。
- 走りながら「コウボウニモオ フーデノ アヤマリイ」と叫び、決めのポーズをとる。
- 最後に「弘法にも筆の誤り」と毛筆で書いた紙を取り出し、流ちょうな日本語で意味を解説する。
- さらに、帰り際にすっこけて「サルモオ キカラア オチルウ」と言っ てオチを付ける。

スキットのアイデアを考えるときに話し合ったことや、ことわざの意味を調べて気付いたことなど

- 「こうぼう」が弘法大師のことで、嵯峨天皇、橘逸勢とともに「三筆」と呼ばれるほどの書の名人と言われていたことを知った。
- 「弘法も筆の誤り」だと思っただけけれど「弘法にも筆の誤り」が正しいと知った。
- 京都の応天門の額を書いた弘法大師が、書き終えて額を門に掲げてみると、「応」の字の一番上の点を書き忘れていた。それを、見た弘法大師は、筆を投げつけて点を打ったそうだ。弘法大師が書き誤りとした話は今昔物語に書かれている。
- 「弘法筆を選ばず」ということわざもある。

次のワークシートを参考に、活動過程において話し合ったことや調べたことを書き込みながら楽しく進めてください。

改訂版

ことわざスキットワークシート 氏名〇〇〇〇

発表する「ことわざ・故事成語」はこれだ

弘法にも筆の誤り

意味

弘法大師（空海）のような書の名人でも、書き損じることがある。その道に長じた人でも時には失敗をすることがあるというたとえ。同じ意味のことわざ「猿も木から落ちる」、「河童の川流れ」

スキットのアイデア

- 世界陸上の男子百メートル決勝の場面優勝間違いないと思われた**選手**がフライングとする。
- 走りながら「コウボウニモオ フーデノ アヤマリイ」と叫び、決めのポーズをとる。
- 最後に「弘法にも筆の誤り」と毛筆で書いた紙を取り出し、流ちょうな日本語で意味を解説する。
- さらに、帰り際にすっこけて「サルモオ キカラア オチルウ」と言っ てオチを付ける。

スキットのアイデアを考えるときに話し合ったことや、ことわざの意味を調べて気付いたことなど

- 「こうぼう」が弘法大師のことで、嵯峨天皇、橘逸勢とともに「三筆」と呼ばれるほどの書の名人と言われていたことを知った。
- 「弘法も筆の誤り」だと思っただけけれど「弘法にも筆の誤り」が正しいと知った。
- 京都の応天門の額を書いた弘法大師が、書き終えて額を門に掲げてみると、「応」の字の一番上の点を書き忘れていた。それを、見た弘法大師は、筆を投げつけて点を打ったそうだ。弘法大師が書き誤りとした話は今昔物語に書かれている。
- 「弘法筆を選ばず」ということわざもある。

次のワークシートを参考に、活動過程において話し合ったことや調べたことを書き込みながら楽しく進めてください。

10 章

漢字指導は国語科指導の いろはのい

この章のねらい

- 漢字の指導法（筆順・部首・とめ・はねなど）を理解する
- 美しい字を書かせるための工夫について考える

小学校六年間で学ぶことになっている漢字は「**一〇〇六**文字です。これは、文部科学省が各学年で学習すべき「配当漢字」として定め、読むことはその学年で、書くことは次の学年までに学ぶことになっています。

一〇〇六文字も覚えさせることは一見大変そうに思えますが、そんなことはありません。例えば、一年間の授業日数を約二〇〇日とすると六年間で二二〇〇日です。一日一文字しか指導しなくても、六年間で全て教えることのできる文字数なのです。

漢字は覚えさせれば読んだり書いたりすることができます。子どもが漢字を読み書きできるようにするためには、学習方法や活用のさせ方に工夫を重ねる教師の指導技術が必要です。

この章では、漢字の指導方法や活用のさせ方について考えてみましょう。

配当漢字の数	
一年生	八〇字
二年生	一六〇字
三年生	二〇〇字
四年生	二〇〇字
五年生	一八五字
六年生	一一一字
計	一〇〇六字

10 章

漢字指導は国語科指導の いろはのい

この章のねらい

- 漢字の指導法（筆順・部首・とめ・はねなど）を理解する
- 美しい字を書かせるための工夫について考える

小学校六年間で学ぶことになっている漢字は「**一〇二六**文字です。これは、文部科学省が各学年で学習すべき「配当漢字」として定め、読むことはその学年で、書くことは次の学年までに学ぶことになっています。

一〇二六文字も覚えさせることは一見大変そうに思えますが、そんなことはありません。例えば、一年間の授業日数を約二〇〇日とすると六年間で二二〇〇日です。一日一文字しか指導しなくても、六年間で全て教えることのできる文字数なのです。

漢字は覚えさせれば読んだり書いたりすることができます。子どもが漢字を読み書きできるようにするためには、学習方法や活用のさせ方に工夫を重ねる教師の指導技術が必要です。

この章では、漢字の指導方法や活用のさせ方について考えてみましょう。

配当漢字の数	
一年生	八〇字
二年生	一六〇字
三年生	二〇〇字
四年生	二〇〇字
五年生	一九三字
六年生	一一一字
計	一〇二六字

旧版

考えるヒント

文字を書くということ

現在の小学校学習指導要領では、第一学年及び第二学年の「**文字に関する事項**」において「平仮名及び片仮名を読み、書くこと」とされているため、公式には小学校に入学してから文字を習うことになっています。しかし、実際には幼稚園や保育園での学習や、家庭学習などによって、小学校入学前からひらがなの読み書きができる子どもが多いのが実情です。現実問題、小学校に入学した時点でひらがなの読み書きができないと、教室で自分の名前が書かれた座席も探せませんし、「こくご」の教科書がどれかも分かりません。書くことはともかく、読むことに関しては、小学校入学時にある程度はできることを前提としているのが現実の状況です。

それでは、書くことに関してはどうでしょうか。小学校入学前にひらがなを書かせることに関しては賛否両論があるようです。「書ける方がいかに決まっている」という意見もあるかもしれませんが、ここで問題なのは「書ける」の度合いなのです。自己流で覚えると、「書ける」ではなく「本人は書けると思っている」という状態にとどまることもあり、あとで修正するのが非常に困難場合があります。私の娘も早くから文字に興味を持ってひらがなを書き始めていました。当然のことながら、最初に覚えたひらがなは自分の名前です。そして、小学校に入学してから、きちんとひらがなを習うと、入学前に比べて非常に綺麗に書けるようになったので

144

改訂版

考えるヒント

文字を書くということ

現在の小学校学習指導要領では、第一学年及び第二学年の「**知識及び技能**」において「平仮名及び片仮名を読み、書くこと」とされているため、公式には小学校に入学してから文字を習うことになっています。しかし、実際には幼稚園や保育園での学習や、家庭学習などによって、小学校入学前からひらがなの読み書きができる子どもが多いのが実情です。現実問題、小学校に入学した時点でひらがなの読み書きができないと、教室で自分の名前が書かれた座席も探せませんし、「こくご」の教科書がどれかも分かりません。書くことはともかく、読むことに関しては、小学校入学時にある程度はできることを前提としているのが現実の状況です。

それでは、書くことに関してはどうでしょうか。小学校入学前にひらがなを書かせることに関しては賛否両論があるようです。「書ける方がいかに決まっている」という意見もあるかもしれませんが、ここで問題なのは「書ける」の度合いなのです。自己流で覚えると、「書ける」ではなく「本人は書けると思っている」という状態にとどまることもあり、あとで修正するのが非常に困難場合があります。私の娘も早くから文字に興味を持ってひらがなを書き始めていました。当然のことながら、最初に覚えたひらがなは自分の名前です。そして、小学校に入学してから、きちんとひらがなを習うと、入学前に比べて非常に綺麗に書けるようになったので

144

- ② 子どもの日記から「日記の書き方のポイント」を取り上げるとしたとき、どのようなポイントを取り上げればよいですか。
- ③ PISA調査における読解力の定義について、例を挙げて説明してください。
- ④ 意見文を評価するときの基準を三つ以上挙げてください。
- 8章 声に出して味わう古典の授業**
- ① 平成二十三年度から全面実施となった学習指導要領における古典の扱いについて説明してください。
- ② 小学校において古典を扱うとき、どのような指導を中心にすべきですか。
- ③ 音読させるだけの活動では子どもたちは飽きてきます。活動にどのような工夫をすればいいでしょうか。
- ④ 「読み聞かせ」「ブックトーク」「ストーリーテリング」の違いを説明してください。
- ⑤ 俳句については、創作だけさせて、作らせっぱなしでは十分に学びになりません。創作活動の後にどのような学習活動を用意すればいいでしょうか。
- 9章 討論や発表を楽しむ授業**
- ① 「プレゼンテーション」「ディベート」とは何ですか。それぞれ説明してください。
- ② 一般的な自己紹介と「ショウ&テル」による自己紹介の違いは何ですか。
- ③ プレゼンテーションを行うために、その過程でどのような活動が必要ですか。

- ② 子どもの日記から「日記の書き方のポイント」を取り上げるとしたとき、どのようなポイントを取り上げればよいですか。
- ③ PISA調査における読解力の定義について、例を挙げて説明してください。
- ④ 意見文を評価するときの基準を三つ以上挙げてください。
- 8章 声に出して味わう古典の授業**
- ① 令和二年^だ年度から全面実施となった学習指導要領における古典の扱いについて説明してください。
- ② 小学校において古典を扱うとき、どのような指導を中心にすべきですか。
- ③ 音読させるだけの活動では子どもたちは飽きてきます。活動にどのような工夫をすればいいでしょうか。
- ④ 「読み聞かせ」「ブックトーク」「ストーリーテリング」の違いを説明してください。
- ⑤ 俳句については、創作だけさせて、作らせっぱなしでは十分に学びになりません。創作活動の後にどのような学習活動を用意すればいいでしょうか。
- 9章 討論や発表を楽しむ授業**
- ① 「プレゼンテーション」「ディベート」とは何ですか。それぞれ説明してください。
- ② 一般的な自己紹介と「ショウ&テル」による自己紹介の違いは何ですか。
- ③ プレゼンテーションを行うために、その過程でどのような活動が必要ですか。

旧版

対談
近くから
見る現場、
遠くから
見る現場

初任者だからって

「ばくは」や「わたしは」を使うのを禁止していることくらいです。なぜなら、文章の書き出しは最も工夫しなければならないと日頃から指導しているからです。そして、素晴らしい日記には必ず「花丸」を付けることです。だから花丸の付いた日記が返ってくると子どもたちは大変喜びます。

牛頭 地域によっても違いがありますが、新規採用の先生が増えていることは歓迎すべきことです。私が小学校教員をしている愛媛県では、何年も新規採用の先生が配属されない地域がありました。若い二十代のピチピチの先生が一人もいない状態です。若手の先生が来ませんから、学校によってはもうすぐ五十歳になるかという白髪まじりの先生でも、現役バリバリの体育主任として活躍しています。

森 文部科学省の学校教員統計調査では、おおよそ三年ごとに教員数などの調査をしています。平成元年（一九八九年）のデータを見ると、全国平均が三九・五歳、愛媛県の平均が三八・二歳ですね。十一年を経た平成十年（一九九八年）になると、全国平均が四一・八歳、愛媛県が三九・三歳。さらに、最新の平成二十二年（二〇一〇年）になると、全国平均が四四・三歳、愛媛県が四五・二歳ですね。全国的に高齢化は進んでいますし、愛媛県に関して言えば、二十一年前は全国平均よりも低かったのに、現在では逆転して全国平均を上回っています。最近になって、団塊ジュニア世代の小学校入学に合わせて大量に採用された世代が退職し始めていますので、都市部では教員採用枠が広がっています。

改訂版

対談
近くから
見る現場、
遠くから
見る現場

初任者だからって

「ばくは」や「わたしは」を使うのを禁止していることくらいです。なぜなら、文章の書き出しは最も工夫しなければならないと日頃から指導しているからです。そして、素晴らしい日記には必ず「花丸」を付けることです。だから花丸の付いた日記が返ってくると子どもたちは大変喜びます。

牛頭 地域によっても違いがありますが、新規採用の先生が増えていることは歓迎すべきことです。私が小学校教員をしている愛媛県では、何年も新規採用の先生が配属されない地域がありました。若い二十代のピチピチの先生が一人もいない状態です。若手の先生が来ませんから、学校によってはもうすぐ五十歳になるかという白髪まじりの先生でも、現役バリバリの体育主任として活躍しています。

森 文部科学省の学校教員統計調査では、おおよそ三年ごとに教員数などの調査をしています。平成元年（一九八九年）のデータを見ると、全国平均が三九・五歳、愛媛県の平均が三八・二歳ですね。平成十年（一九九八年）になると、全国平均が四一・八歳、愛媛県が三九・三歳。平成十九年（二〇〇七年）になると、全国平均が四四・五歳、愛媛県が四三・八歳。最新の平成二十八年（二〇一六年）になると、全国平均が四三・四歳、愛媛県が四七・〇歳です。全国的に高齢化は進んでいますし、愛媛県に関して言えば、二十七年前は全国平均よりも低かったのに、現在では逆転して全国平均を大きく上回っています。最近になって、団塊ジュニア世代の小学校入学に合わせて大量に採用された世代が退職し始めていますので、都市部では教員採用枠が広がっています。

牛頭 退職数だけではなく、少人数学級の影響もありますね。

森 はい。その通りです。ただ、都市部に比べて地方ではそれほど採用が増えていませんので、都市部の平均年齢の低下（平成二十八年で東京四〇・四歳、神奈川四〇・二歳など）に比較して、地方では教員の高齢化が顕著になってきています。

牛頭 なるほど。現場では、若手の先生が赴任すると学校が活気づきます。毎日ひたむきに熱心に教育活動に励んでいる若い先生に負けてはいけなさと、高齢化していた職員室が活性化するのは、子どもや保護者にとっても事実です。というのには、子どもや保護者にとつて、若手の先生でも、ベテランの先生と同じ力を要求されるからです。若い先生だからといって、「これはできなくていい」とか「あれは無理だろう」では困るのです。とにかく教師としての責任を果たす義務があるのです。ベテランの先生に比べて経験値の少ない若手の先生に必要なものは何か。それは、「めげない心」と「粘り強い実行力」です。

森 よく言われることですが、初任者も、ベテランも、子どもから見たら、等しく「先生」であるということですね。

牛頭 その通りです。つい三月まで教育学部の学生さんだった若者が、四月からは「先生」と呼ばれる教育公務員として職責を果たす立場になるわけですから、いきなり学級担任を任される新規採用の先生は、大きなストレスを抱えて日々生活することになります。そのプレッシャーに打ち勝つためにも、「めげない心」と「粘り強い実行力」が必要です。「実際は先輩教師が色々教えてくれるんじゃないの？」とか、「新規採用教職員のための研修制度もあるから心配ないだろう」とか、楽観的に考えることも必要ですが、それ

牛頭 退職数だけではなく、少人数学級の影響もありますね。

森 はい。その通りです。ただ、都市部に比べて地方ではそれほど採用が増えていませんので、都市部の平均年齢の低下（平成二十八年で東京四〇・四歳、神奈川四〇・二歳など）に比較して、地方では教員の高齢化が顕著になってきています。

牛頭 なるほど。現場では、若手の先生が赴任すると学校が活気づきます。毎日ひたむきに熱心に教育活動に励んでいる若い先生に負けてはいけなさと、高齢化していた職員室が活性化するのは、子どもや保護者にとつて、若手の先生でも、ベテランの先生と同じ力を要求されるからです。若い先生だからといって、「これはできなくていい」とか「あれは無理だろう」では困るのです。とにかく教師としての責任を果たす義務があるのです。ベテランの先生に比べて経験値の少ない若手の先生に必要なものは何か。それは、「めげない心」と「粘り強い実行力」です。

森 よく言われることですが、初任者も、ベテランも、子どもから見たら、等しく「先生」であるということですね。

牛頭 その通りです。つい三月まで教育学部の学生さんだった若者が、四月からは「先生」と呼ばれる教育公務員として職責を果たす立場になるわけですから、いきなり学級担任を任される新規採用の先生は、大きなストレスを抱えて日々生活することになります。そのプレッシャーに打ち勝つためにも、「めげない心」と「粘り強い実行力」が必要です。「実際は先輩教師が色々教えてくれるんじゃないの？」とか、「新規採用教職員のための研修制度もあるから心配ないだろう」とか、楽観的に考えることも必要ですが、それ